

■ 日程

令和6年10月23日(水)～25日(金)

現地視察: 23日～24日(グレヘン、イルグラールベン他) 会議: 25日(ブリーク)

■ 出席者

【日本側】

本省: 國友 砂防計画課長、山田 計画係長

国総研: 赤澤 主任研究官、大槻 研究官

土研: 松永 研究員

大学: 内田 筑波大学教授 計6名

【スイス側】

連邦環境局防災部(FOEN) ヨーゼフ・エベリ 部長 他

連邦森林雪氷景観研究所(WSL) アレクサンドル・ポドゥー グループ長 他

スイス連邦工科大学 フォルカー・ヴァイブレヒト博士

ジュネーブ大学 マルクス・ストッフエル教授

ヴァレー州自然災害庁 ラファエル・マヨラス長官 他 計15名

■ 経緯

・平成26年12月「第3回日本・スイス科学技術合同委員会」において、砂防部とスイス政府(環境局)において砂防分野の技術交流を促進することを合意。

・令和3年に締結されたMoMに基づき、第4回はスイス・ヴァレー州で開催。

第1回:平成28年5月27日(金)～28日(土)スイス(チューリッヒ)

第2回:平成30年9月28日(金)～30日(日)日本(東京、松本、糸魚川)

第3回:令和3年6月15日(火)・18日(金)WEB

■ 開催概要

- ・ スイス、日本両国の土砂災害の現状、気候変動の影響及びその対策等について、エベリ部長および國友砂防計画課長より基調講演。
- ・ ほか、「気候変動」「物理・数値モデリング」「モニタリング技術」「流木対策」の4議題について、両国1名ずつ計8名より発表し、意見交換を実施。(太字は国総研発表)
- ・ 両国間で、気候変動による土砂災害の発生形態の変化に差異があるものの、対策に当たっての課題の根底には共通のものがあ、互いに課題を共有し解決へ向けての意見交換を行うことは意義深い事であることを確認した。

【MoM】

- ① 両国は、土砂災害防止に関する行政、研究、技術に関する議論を継続する。
- ② 日本が次回の会議を2026年に開催する。



締結されたMoM



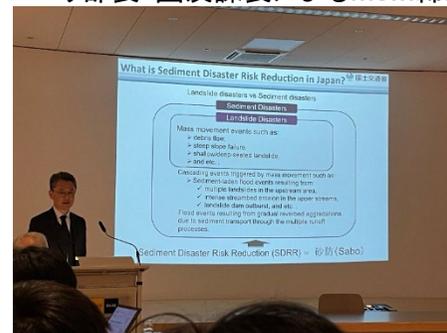
会場の様子



エベリ部長・國友課長によるMoM締結



エベリ部長による開会挨拶



國友課長による基調講演



自治体訪問(グレヘン)



数値計算によるハザードエリアの指定状況



現地視察(イルグラールベン)